

研修会報告

令和 3 年 5 月 23 日

文責： 齋藤 邦倫

研修会テーマ「令和 2 年度細胞診精度管理フォローアップ研修会」

開催日時 2021 年 5 月 23 日（日） 13:00 ～ 15:30

会場 Zoom による Web 研修会

司会 佐藤 正樹

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 30 名 入会申請中会員 0 名 非会員 6 名 賛助会員 0 名 学生 0 名

合計 30 名

講演 1 「令和 2 年度細胞診精度管理調査報告・設問解説」

仙台厚生病院 尾池 裕子 技師

講演 2 「細胞診内部精度管理アンケート結果報告」

仙台医療センター 齋藤 邦倫 技師

講演 3 「病理・細胞診の精度管理について（ISO15189 を中心に）」

公益財団法人 総合花巻病院 臨床検査部

日本適合性認定協会（JAB）技術審査員

伊藤 茂雄 先生

内容

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和元年度の細胞診精度管理フォローアップ研修会が大幅に延期しており、本研修会のスケジュールにおいても調整を余儀なくされた。令和 2 年度の細胞診精度管理フォローアップ研修会は若干の延期があったものの、ほぼ例年通りの時期での開催となった。アンケートにおいて細胞診の内部精度管理を中心に多くの設問を用意しており、その結果から県内の現状が浮き彫りになった。その内容を踏まえ、ISO15189 を意識した精度管理、をテーマとした研修会とした。

講演 1 では精度管理調査報告を行った。全問において成績は良好だったため、特定の設問における集中的な解説は行っていない。バランスよく全問の解説を行った。

講演 2 では内部精度管理に関するアンケート結果を報告した。ダブルチェックや目合わせに関する内容を中心に全 16 問の設問を実施しており、県内における内部精度管理の現状や問題点を共有することができた。関連する文献などを紹介し、ダブルチェックや目合わせについて再確認した。

講演 3 では ISO15189 の技術審査員も務める伊藤茂雄先生に講演を依頼し、ISO15189 を中心とした病理・細胞診の精度管理について説明して頂いた。内部精度管理のアンケー

ト結果を事前に共有しており、研修会としての統一感が感じられる講演だった。目合わせについての誤解や精度管理フォトサーベイの重要性、ISO15189 認定取得施設が東北地方でもっとも多い宮城県が負う責務など、研修会参加者だけではなく我々精度管理部門員の気持ちも改まる内容だった。ISO15189 や改正医療法などにより精度管理への理解の重要度が増すなかで、非常に有意義な講演であったと思われる。

前回に引き続き Zoom を利用した Web 研修会であったが、大きなトラブルもなく無事に終わることができた。部門員は複数回の Web 研修会を経験しており、運営にも安心感があった。参加者の途中入退室はほとんど見られず熱心な視聴がなされたと考えられる。

今後も精度管理調査を通して、会員にとって有益な研修会を企画・開催できるよう努めたい。